

電子公証サービス導入事例

KOKUYO
ひらめき・はかどり・こちよさ

コクヨS&T株式会社 様

会社名 : コクヨS&T株式会社
東京品川オフィス
〒108-8710 東京都港区港南1丁目8番35号
資本金 : 30億円
従業員数 : 545人(2007年12月末現在)
ホームページ : <http://www.attovas.com/>



@Tovasの信頼を、(株)日本電子公証機構のサービスが支えています。

- ユーザーの利用ログを電子公証。
- @Tovasの信頼感を増大。

@Tovas(あっととばす)は、コクヨS&T株式会社が2004年7月7日から提供しているASPサービスです。インターネットを介してやり取りされるビジネス文書を、トレーサビリティを確保しつつ安全確実に相手に届けるサービスです。しかも受け取り側は、FAXや郵便でも受け取ることができ、インターネット環境が整っていない事業者にも配慮した画期的なサービスです。この、@Tovasの中で、(株)日本電子公証機構のサービスが活用されています。

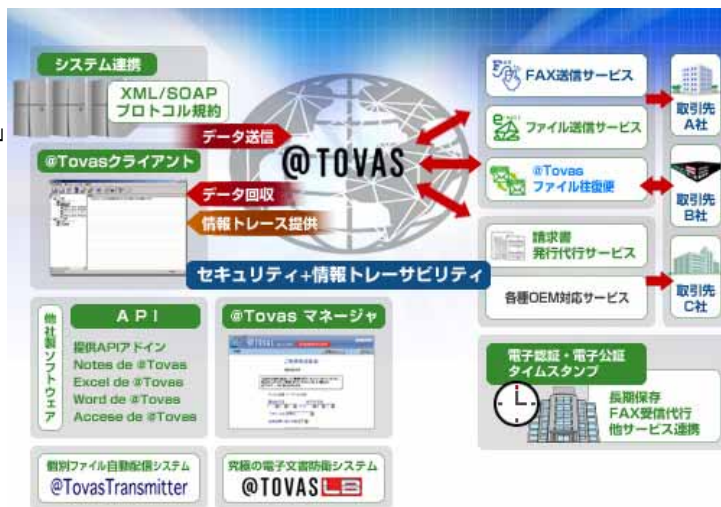
導入の経緯

@Tovas(あっととばす)は、コクヨS&T株式会社が提供するASPサービスで、“オフィスワークを快活にする「ビジネス電子文書の流通交換+情報トレーサビリティ*サービス」”です。情報トレーサビリティとは、「いつ、誰が、何を、誰に、どうしたか、どうなったか」を第三者証明となるように「情報流通/交換事実の追跡管理」を行うことを意味しています。このために、@Tovasでは、ユーザーの利用状況をログとして収集・保管・管理しています。つまり、@Tovasのユーザー(@Tovasを介して情報のやり取りをした相手も含めて)は、「いつ、誰が、何を、誰に、どうしたか、どうなったか」の第三者証明を受けることができます。

@Tovasでは、さらに、収集・保管するログに対して、その真正性を確保するために、(株)日本電子公証機構の電子公証を実施しています。

一般的にコンピューターのシステムでは、そのシステムの利用状況や稼働状況などをログとして収集し、何らかのトラブルが発生した際には、そのログを追跡してトラブルの原因を探ったり、正しい利用の仕方がなされていたのかを確認したりします。社内のみで、ログを利用しているのであれば、ログの収集・管理が大きな問題になることはありませんが、内部統制やJ-SOX法などによって、システムの稼働・利用状況の正しさを説明するための証拠としてログが重要性を増す中、社内利用と同様の管理では、対外的に説明責任が果たせなくなってしまいます。

@Tovasでは、このことをいち早く検討し、(株)日本電子公証機構の電子公証サービスを利用することでその解決が図られました。また、ログを電子公証していることにより、@Tovasに対するユーザーの信頼感を増すことになりました。



@Tovas(あっととばす)全体イメージ

電子公証サービスに関する詳しい情報はこちらへ

<http://www.jnotary.com/>



株式会社
日本電子公証機構
Digital Notarization Authority Co., Ltd.

〒130-0013 東京都墨田区錦糸二丁目14番6号
TEL 03-5819-3871 FAX 03-5819-3873
E-mail info@jnotary.com

営業品目

- 電子公証サービス
 - 先使用権立証支援サービス
 - カルテ電子化保存支援サービス
 - アクセスログ保全証明サービス
 - 電子ファイルの保全証明サービス
 - 電子契約支援サービス
 - 電子ファイル保存サービス
 - 電子ファイル共有交換サービス
- 電子認証サービス
 - 電子署名法 特定認証業務 電子証明書発行サービス
 - ビジネスユース電子証明書発行サービス
- ソフトウェア
 - 電子署名/タイムスタンプ一括付与・一括検証ソフトウェア
- コンサルティングサービス
 - デジタル情報のセキュリティに関するコンサルティング



JN+